



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月4日

上場会社名 オリコン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4800 URL <https://www.oricon.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 恒

問合せ先責任者 (役職名) 企業広報部長 (氏名) 山口 幸作

TEL 03-3405-5252

四半期報告書提出予定日 2022年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,306	12.3	1,068	43.0	1,056	44.2	716	8.8
2021年3月期第3四半期	2,945	4.9	747	5.7	732	15.4	657	16.5

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 709百万円 (10.4%) 2021年3月期第3四半期 642百万円 (30.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	52.47	
2021年3月期第3四半期	47.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	4,501	3,844	85.4	283.24
2021年3月期	4,398	3,639	82.7	263.30

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 3,844百万円 2021年3月期 3,639百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		17.00	17.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,460	10.7	1,440	36.0	1,420	36.0	960	11.6	70.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	15,123,200 株	2021年3月期	15,123,200 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,549,878 株	2021年3月期	1,299,847 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	13,649,237 株	2021年3月期3Q	13,819,592 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により経済活動の抑制を余儀なくされ、2021年7～9月期の国内総生産（GDP）成長率が2021年4～6月期比で実質0.9%減（年率換算で3.6%減）となりました。感染拡大防止と経済活動の両立を図るなかで感染拡大に収束の兆しは見え、国内経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内の情報通信分野においては、株式会社サイバーエージェントの調査によると、インターネット広告における2021年の動画広告市場を前年比42%増と推計しており、今後も洗練された動画広告クリエイティブの開発・提供が進むことにより、高い水準での市場成長が予想されております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、次のようになりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、コミュニケーション事業とデータサービス事業が前年同期比で増収、モバイル事業が前年同期比で減収となりました。以上の結果、全体では前年同期比360,892千円増（12.3%増）の3,306,721千円となりました。

費用面では、売上原価は前年同期比16,921千円減（1.6%減）、販売費及び一般管理費は人件費の増加等により前年同期比56,203千円増（4.9%増）となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比321,611千円増（43.0%増）の1,068,874千円となりました。経常利益は前年同期比323,923千円増（44.2%増）の1,056,547千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ投資有価証券売却益等の特別利益が223,235千円減少したことにより、前年同期比58,224千円増（8.8%増）の716,220千円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間（10月～12月）における前年同期との比較では、売上高が9.3%増、営業利益が40.7%増となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下の通りであります。

① コミュニケーション事業

ニュースコンテンツの提供並びにWEBサイトの制作・運営・広告販売等を行うコミュニケーション事業では、「顧客満足度（CS）調査事業」「ニュース配信・PV事業」を展開しております。

顧客満足度（CS）調査事業の売上高は、前年同期比で37.2%増加しました。10月～12月は、商標利用契約・デジタルプロモーション（送客）・データ販売の各ビジネスともに前年同期比で収益規模を拡大して推移しました。

ニュース配信・PV事業の売上高は、2020年10月から開始したコンサルティング事業を含め、前年同期比で10.8%増加しました。10月～12月は、外部メディア向けコンテンツ提供やコンサルティング事業の業容が前年同期比で拡大しました。さらに、自社メディア「ORICON NEWS」では、4～12月のセッション数は前年同期と比べて約17%増加し、10～12月の直近3か月実績で前年同期と比べて約19%増加しました。また、公式YouTubeチャンネル「ORICON NEWS」では12月にチャンネル登録者数が150万人を超え、再生数も順調に増加しており、エンタテインメント分野を代表する有力なチャンネルとしての地位を確立しております。

以上の結果、コミュニケーション事業全体の売上高は、前年同期比467,308千円増（23.4%増）の2,466,466千円、セグメント利益は前年同期比433,735千円増（38.6%増）の1,557,919千円となりました。

②データサービス事業

音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」を中心に、当社グループが保有するエンタテインメント関連データを活用したビジネスを展開しております。売上高は、前年同期比816千円増（0.2%増）の498,380千円、セグメント利益は固定資産の償却負担等により前年同期比6,841千円減（3.7%減）の179,283千円となりました。

③モバイル事業

当事業では、従来「フィーチャーフォン向け事業」と「スマートフォン向け事業」の2つに区分して状況を記載しておりましたが、経営資源配分等の観点において、当連結会計年度より一体管理する体制へ移行しました。売上高は、前年同期比107,232千円減（23.9%減）の341,875千円、セグメント利益は前年同期比56,452千円減（27.3%減）の150,526千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,501,126千円となり、前連結会計年度末と比べ102,380千円増加しました。これは主に現預金の増加によるものです。

負債合計は656,552千円となり、前連結会計年度末と比べ102,515千円減少しました。これは主に未払法人税等の減少によるものです。純資産合計は3,844,574千円となり、前連結会計年度末と比べ204,896千円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益716,220千円を計上し、配当金234,997千円の支払、自己株式269,772千円の取得等によるものです。

これにより自己資本比率は85.4%となり、前連結会計年度末と比べ2.7ポイントの上昇、前第3四半期連結会計期間末と比べ0.3ポイントの上昇となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2021年5月11日に公表した予想値を修正いたしました。詳細は本日（2022年2月4日）公表の「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,784,188	2,871,909
受取手形及び売掛金	524,257	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	540,267
商品及び製品	5,157	4,043
仕掛品	488	488
その他	189,680	216,535
貸倒引当金	△775	△851
流動資産合計	3,502,997	3,632,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,815	21,110
工具、器具及び備品(純額)	118,758	98,160
土地	1,973	1,973
有形固定資産合計	143,547	121,244
無形固定資産		
のれん	25,000	20,909
ソフトウェア	140,980	142,106
その他	14,714	8,241
無形固定資産合計	180,694	171,257
投資その他の資産		
投資有価証券	106,830	121,980
繰延税金資産	29,090	10,017
その他	442,406	451,055
投資損失引当金	△4,900	△4,900
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	571,507	576,232
固定資産合計	895,749	868,734
資産合計	4,398,746	4,501,126
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,595	10,277
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	254,809	139,080
その他	393,662	407,194
流動負債合計	759,067	656,552
負債合計	759,067	656,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,450	1,092,450
利益剰余金	3,039,724	3,520,948
自己株式	△562,322	△832,094
株主資本合計	3,569,853	3,781,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,825	63,270
その他の包括利益累計額合計	69,825	63,270
純資産合計	3,639,678	3,844,574
負債純資産合計	4,398,746	4,501,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,945,829	3,306,721
売上原価	1,054,934	1,038,013
売上総利益	1,890,894	2,268,708
販売費及び一般管理費	1,143,631	1,199,834
営業利益	747,263	1,068,874
営業外収益		
受取利息	78	60
未払配当金除斥益	679	570
受取保険金	—	7,690
保険配当金	678	701
その他	320	327
営業外収益合計	1,757	9,350
営業外費用		
支払利息	761	563
株式関連費	10,688	9,524
支払手数料	4,606	11,571
その他	339	17
営業外費用合計	16,396	21,676
経常利益	732,624	1,056,547
特別利益		
固定資産売却益	1,500	—
投資有価証券売却益	255,590	34,057
新株予約権戻入益	202	—
特別利益合計	257,292	34,057
特別損失		
固定資産除却損	70	6
特別損失合計	70	6
税金等調整前四半期純利益	989,846	1,090,599
法人税、住民税及び事業税	293,737	352,413
法人税等調整額	38,113	21,965
法人税等合計	331,851	374,379
四半期純利益	657,995	716,220
親会社株主に帰属する四半期純利益	657,995	716,220

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	657,995	716,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,317	△6,554
その他の包括利益合計	△15,317	△6,554
四半期包括利益	642,677	709,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	642,677	709,665
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の影響額ははありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	コミュニケーション	データサービス	モバイル	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,999,157	497,563	449,107	2,945,829	2,945,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,300	—	—	63,300	63,300
計	2,062,457	497,563	449,107	3,009,129	3,009,129
セグメント利益	1,124,183	186,125	206,979	1,517,288	1,517,288

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,517,288
セグメント間取引消去	104
のれんの償却額	△909
全社費用(注)	△769,221
四半期連結損益計算書の営業利益	747,263

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	コミュニ ケーション	データ サービス	モバイル	計	
売上高					
外部顧客への売上高	2,466,466	498,380	341,875	3,306,721	3,306,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,000	—	—	63,000	63,000
計	2,529,466	498,380	341,875	3,369,721	3,369,721
セグメント利益	1,557,919	179,283	150,526	1,887,729	1,887,729

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,887,729
のれんの償却額	△4,090
全社費用（注）	△814,764
四半期連結損益計算書の営業利益	1,068,874

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	コミュニ ケーション	データ サービス	モバイル	計	
顧客満足度（CS）調査	1,306,799	—	—	1,306,799	1,306,799
ニュース配信・PV等	1,159,666	—	—	1,159,666	1,159,666
データ提供等	—	498,380	—	498,380	498,380
モバイル端末向けコン テンツ配信サービス等	—	—	341,875	341,875	341,875
顧客との契約から生じ る収益	2,466,466	498,380	341,875	3,306,721	3,306,721
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,466,466	498,380	341,875	3,306,721	3,306,721